

松浦で作られるスラックス、こだわりのいっぽんが出来るまでの123工程の1つをご紹介します

いっぽんのいっぽん
こだわりの1/123



『尻縫い』

千葉 靖江
(担当 15年)

求められる長年の経験と感覚

「尻縫い」工程は、スラックスを穿いた時のお尻部分のフィット感を決める繊細な工程になり、ウエスト寸法も決まってしまう重要な工程でもあります。

縫い込み過ぎず、浅くなり過ぎず縫うには、長年の熟練の技が必要です。この技を持っておられる千葉さんを今回ご紹介します。

穿き心地が決まる重要な工程

(千葉) 『尻縫い』は、上部の3cmの縫い代から下部の1cmの縫い代になるように、徐々に狭く縫わなければいけません。カーブを作りながらの縫製は、定規はなく長年の経験と感覚だけが頼りになります。常にお尻のフィット感と合わせて、ウエスト寸法にも目線をおいています。

更に柄物については、横柄だけでなく縦柄も左右対象になるように、少しずつ柄を合わせながら縫わないといけません。まさに、スラックスの穿き心地を決める工程と言っても過言ではありません。

今後も『主人を始め、自分の身内に穿いてもらうんだ。』という気持ちで1本1本エミネットファンの方に向けて、心を込めて縫いたいと思っています。『と仕事への思いを語ってくれました。』

2024年エミネントグループの年賀状は、“ミナトマチファクトリー”所属のデザイナー前田泰佑さんにイラスト作成をお願いしました。前田さんよりエミネントスラックスに応援メッセージをいただいています。



前田氏制作のエミネントスラックスイメージイラスト



就労継続支援B型事業所
MINATOMACHI FACTORY
デザインでみんなと(社会)をつなぎたい。

障がい者の仕事と雇用を創り出すためにオープンしたMINATOMACHI FACTORY(ミナトマチファクトリー)。みなとまち佐世保で、様々なクリエイターやデザイナーとコラボしながら、商品の企画・開発から、デザイン、製造販売までの一貫体制。デザインを媒介として、人と社会がつながる仕組みを構築しています。

前田 泰佑 Maeda Taisuke

長崎生まれ、横浜育ち。武蔵野美術大学卒業後、デザイナーの道に進む。現在はミナトマチファクトリーに所属し、商品デザインを担当している。

『この度はイメージイラストの制作に携わらせていただきありがとうございます。皆さんの丁寧な作業や、一致団結して製品を作られている様子からイメージし制作いたしました。このイラストが皆様のチカラになればと思っております。』

メイン会場の福島武道館では、盆栽や鉢物の展示販売に加え、接木などの実技指導が行われます。他にも椿の生花や、小中学生による椿の絵画などの作品展示、陶芸作品や小物の販売もあります。また園内のお祭り広場では、特産物や軽食の販売もあります。

初崎公園の椿の群生林はもちろんのこと、土谷棚田や大山公園、イロハ島など、絶景スポットの多い福島にぜひお越しください!

つばきの里へいらっしゃい! 『福島 つばき祭り』

長崎県松浦市の福島地区は椿が有名で、松浦市の市の花も椿に選ばれています。毎年3月上旬には「福島つばき祭り」が2日間開催され、盆栽や苗の販売をはじめとする催しで賑わいます。

38年ぶり日本一!
松浦市出身 阪神タイガース 平田ヘッドコーチ
優勝おめでとうございます エミネントスラックスを激励!!

プロ野球阪神タイガースのヘッドコーチとして、38年ぶりの日本一に貢献された 松浦市出身の平田勝男 様(64歳)が、凱旋帰郷された折、同級生の御祝の席へエミネントスラックスの前田周二が、お邪魔させて頂きました。

「オー お前誰や!」 開口一番 声をかけて頂き、野球繋りの先輩よりこいつは、野球の後輩で、エミネント勤務をご紹介頂きました。「オー 知ってる知ってる 良いスラックス作ってるよねー!優勝したぞ!スラックスもってきたー?」と すごく、おしゃれで元気が出るツッコミを頂きました。

もちろんメジャー持ってきてます! 採寸させて頂き、パンタロナイオ尾作隼人氏監修の当社新開発パンツを後日お届けした次第です。2タックですがフィット感があり、テーパードに裾はスマートに細く仕上げました。



「オー 前田くん いいよーいいよー ありがとう!良いスラックスだー 素晴らしいー 寸法もバッチリ 足が1cm短いかあー」ありがとう ありがとう をお電話でたくさん頂きました。熱量が半端ないし元気が湧いてきます。また、ご丁寧にご実家のお母さまからは社員でご近所のバドミントン仲間でもある副島美智子を通じて、お疲れ生サイン入りポスターとタオルを頂いた次第です。温かいハートをお母さまからも頂戴いたしました。バドミントンの時間も、お母さまが元気の源と副島からお聞きしました。

平田ヘッドコーチからは、「応援するよ、しっかりスラックス作って頑張るなー」とお言葉頂きソフトバンクファンの私は、コロッと阪神タイガースファンになったのは言うまでもありません。平田ヘッドコーチ 今年も日本一連覇期待しております。全国のエミネント百貨店売り場へお顔出して頂けますと幸いです。お待ち申し上げます。



松浦市で創業の”酒の一斗”酒屋が作った地元のこだわり水産品!



長崎県産鯖を酢を使わずに、レモン果汁と少しの調味料でしめた炙りしめ鯖。自社工場で通常の約20倍の速さで冷凍ができるスーパーフリージングを導入、食材の鮮度と旨さを閉じ込め解凍しても味が変わらずお召し上がり頂けます。レモンの風味もそのまま、しめ鯖だけど、しめ鯖じゃない全く新感覚のしめ鯖です。

ご紹介の商品は、酒の一斗が所属する池野酒店ホームページまたは楽天市場から購入が可能です。



Eminente 24SS イチオン商品



ウエストサイズ：70cm～120cm
シルエット：ノータック、ワンタック、ツータック
納期：14日～（時期によりお仕立て期間が変更になる場合がございます）
詳しくは店頭販売員までお問い合わせください。

～パターンオーダーが新しく生まれ変わりました～

エミネントパターンオーダー

2024 SPRING & SUMMER 『エミネントパターンオーダー』
厳選された豊富な生地でお好みのシルエットとウエストサイズでお作り出来るエミネントのパターンオーダースラックス。
この春からはリニューアルし、より一層お客様のご要望にお応え出来るようにオプション内容を強化して生まれ変わりました。
上質な穿き心地をお客様へ提供するために改良したジャストサイズの1本を長崎・松浦の自社工場で、スタッフが心を込めてお作りいたします。
この機会にぜひ各百貨店のエミネントにお越しいただき、新しく生まれ変わりましたパターンオーダースラックスをお楽しみください。

『第105回 Pitti Uomo 2024』出展

2024年1月9日～12日にイタリア フィレンツェにて紳士服の祭典と呼ばれている Pitti Uomoが開催されました。当社もコロナ禍を挟んで13回目の出展となりました。初めてフランスの小売からオーダーを貰ってから、いまでは17カ国へ輸出実績を得るまでになりました。世界的なSDG'sとカジュアル化傾向を踏まえて、前回よりエシカルコンセプトの新ブランド"ROOP"を出展致しました。リサイクルデニムやポリエステルに加えて今期はリサイクルウールを素材開発、リサイクルツイードのワイドシルエット商品がとても人気がありました!今回もイタリア、フランス、ポーランド、中国を始め、多くの新規先と繋がる事ができ、長崎県松浦市から世界に発信されるスラックス物語を広げる事が出来ました。これからもまだまだ頑張っていきたいと思っております。

Planning and Management
後藤 正毅 Masaki Goto

Eminente公式サイトにて
Pitti Uomo 2024』情報公開中

下記 QR コードを
チェック ↓



※フィレンツェの著名ショップ"DESII"の面々と

Matsuura Story

松浦物語

2024 Spring No.9 (年4回発行予定)

Eminento

東京都中央区日本橋人形町9-18 TEL:03-5695-2088



～ 松浦物語 ～

Matsuura Story

エミネントの商品は大自然と歴史・文化が育む長崎県松浦市で生み出されています
本誌ではエミネントの工場紹介と共に長崎 / 松浦と周辺の魅力をお伝えしていきます

Spring 2024

No.9

Cover Photo

春の訪れ 梅花

松浦市 調川町



松浦物語
にっぽんの
いっぽん
にっぽんのいっぽん
こだわりの1/123
『尻縫い』

MINATOMACHI FACTORY
前田 泰佑 Maeda Taisuke

『福島つばき祭り』

阪神タイガース 平田ヘッドコーチ
エミネントスラックス 激励

酒屋が作った
しめ鯖
香る炙り焼き仕上げ

Eminente 24SS イチオン商品

『エミネントパターンオーダー』

『第105回 Pitti Uomo 2024』

Eminente

表紙撮影 / エミネントスラックス
技術顧問 眞弓 隆治